

未来を拓く都留まちづくり会議 市町村合併について



あなたは どう考えますか . . . 市町村合併!

●市町村合併の歴史●

過去の大きな合併には、明治22年の市町村制の施行に伴う『明治の大合併』と、昭和28年の市町村合併促進法による『昭和の大合併』があります。『明治の大合併』では市町村が戸籍や小学校の事務を処理できるよう行政機能の強化を図るため実施されました。

全国で71,314あった町村が約5分の1の15,820に減少しました。

『昭和の大合併』では昭和28年の市町村合併促進法と昭和31年の新市町村建設促進法に基づき国指導の計画的な合併が推進され全国で9,868の市町村が3,472と約3分の1になりました。

現在の都留市は昭和29年4月29日に1町4カ村で合併し市政を施行しました。

合併当時の人口は、31,098人で世帯数は5,761世帯でした。

今回の、「未来を拓く都留まちづくり会議」は市町村合併についてをテーマに市内九地区で開催しました。本格的な地方分権時代の到来により、各市町村は自己決定・自己責任をキーワードに、それぞれの地域のまちづくりに大きな責任を果たして行かなければなりません。少子高齢化、高度情報化への対応、更には多様化する市民ニーズなど様々なことへの的確に 대응して行くには、基礎自治体としての行財政基盤の強化や体制整備が急務とされています。このため、最近になって全国で市町村合併にむけた動きが目立っています。この会議では、二十一世紀の都留市のまちづくりがどうあるべきか、そのために必要とされる体制の整備をどう進めて行くのか？各地で検討される市町村合併をテーマに、地域特性を生かし、市民が主体となるまちづくりが論議の中心となりました。

市町村合併については、庁内に市町村合併研究会を設け、国の制度改革の動向と影響、合併支援策などのシミュレーションや地域の将来像など多角的に調査研究をすることとしています。研究結果については、広報紙などで、広く市民の皆さんにお知らせしてまいります。また、市民の皆さんには市町村合併についてのアンケートなどを今後予定しておりますので、ご協力いただきますようお願い致します。

今回は、「未来を拓く都留まちづくり会議」で配布致しました市町村合併のパンフレットの概要をまとめて掲載させていただきます。都留市の将来について、これからも市民の皆さんとともに考えて行きたいと思っています。